

# 概 説

## 第1 概況

- 1 令和4年末現在における在留外国人数は、307万5,213人で、日本の総人口1億2,495万人（令和4年10月1日現在人口推計（総務省統計局））の2.46パーセントを占めている。【第1表・第1図参照】
- 2 **国籍・地域別**で見ると、中国が76万1,563人で在留外国人全体の24.8パーセントを占め、以下、ベトナム、韓国、フィリピン、ブラジルの順となっている。【第2表参照】
- 3 **在留資格別**で見ると、「永住者」が86万3,936人で在留外国人全体の28.1パーセントを占め、以下、「技能実習」、「技術・人文知識・国際業務」、「留学」、「特別永住者」の地位をもって在留する者の順となっている。【第3～10表参照】
- 4 **都道府県別**で見ると、東京都が59万6,148人で在留外国人全体の19.4パーセントを占め、以下、愛知県、大阪府、神奈川県、埼玉県の順となっている。【第11表、第12表参照】
- 5 **年齢別**で見ると、20代及び30代で在留外国人全体の52.7パーセントを占めている。  
**性別**で見ると、女性が男性を1万8,842人上回っている。【第13表参照】

(注1) 本概説において、本文及び表の各項目における構成比(%)は表示桁数未満を四捨五入してあるため、合計の数字と内訳の計は必ずしも一致しない。

(注2) 平成21年改正出入国管理及び難民認定法施行に伴い、在留カード及び特別永住者証明書（以下「在留カード等」という。）には、国籍・地域欄に「台湾」と表示されることとなったため、平成24年末以降の在留外国人数「台湾」は、既に国籍・地域欄に「台湾」の記載のある在留カード等の交付を受けた者の数である。

(注3) 朝鮮半島出身者及びその子孫等で、韓国籍をはじめいずれかの国籍があることが確認されていない者は、在留カード等の「国籍・地域」欄に「朝鮮」の表記がなされており、「朝鮮」は国籍を表示するものとして用いているものではない。

(注4) 本概説及び統計表においては、令和4年末現在を基準に作成しているため、在留資格の表記については、令和4年末現在における出入国管理及び難民認定法別表第1及び別表第2に掲げるものとしている。

## 第2 在留外国人数の内訳及び分析

### 1 総数及び推移 ー第1表・第1図ー

#### ー令和4年末現在における在留外国人数は、307万5,213人ー

令和4年末現在における在留外国人数は、307万5,213人で、前年末に比べ31万4,578人（11.4パーセント）増加している。

また、在留外国人が日本の総人口1億2,495万人（令和4年10月1日現在人口推計（総務省統計局））に占める割合は、前年末に比べ0.26ポイント増加している。

なお、日本の総人口と在留外国人数の10年前（平成24年）からの増減率を比較してみると、日本の総人口は2.0パーセント減少しているのに対し、在留外国人数は51.2パーセント増と大幅に増加している。

【第1表】外国人登録者数及び在留外国人数の推移

(各年末現在)

	総数	対前年 増減率(%)	我が国の総人口に 占める割合(%)
平成 元 (1989) 年	984,455	4.6	0.80
2 (1990) 年	1,075,317	9.2	0.87
3 (1991) 年	1,218,891	13.4	0.98
4 (1992) 年	1,281,644	5.1	1.03
5 (1993) 年	1,320,748	3.1	1.06
6 (1994) 年	1,292,306	-2.2	1.03
7 (1995) 年	1,296,562	0.3	1.03
8 (1996) 年	1,345,786	3.8	1.07
9 (1997) 年	1,409,831	4.8	1.12
10 (1998) 年	1,434,606	1.8	1.13
11 (1999) 年	1,476,325	2.9	1.17
12 (2000) 年	1,594,001	8.0	1.26
13 (2001) 年	1,679,919	5.4	1.32
14 (2002) 年	1,746,433	4.0	1.37
15 (2003) 年	1,804,695	3.3	1.41
16 (2004) 年	1,863,870	3.3	1.46
17 (2005) 年	1,906,689	2.3	1.49
18 (2006) 年	1,989,864	4.4	1.56
19 (2007) 年	2,069,065	4.0	1.62
20 (2008) 年	2,144,682	3.7	1.67
21 (2009) 年	2,125,571	-0.9	1.66
22 (2010) 年	2,087,261	-1.8	1.63
23 (2011) 年	2,047,349	-1.9	1.60
24 (2012) 年	2,033,656	-0.7	1.59
25 (2013) 年	2,066,445	1.6	1.62
26 (2014) 年	2,121,831	2.7	1.67
27 (2015) 年	2,232,189	5.2	1.76
28 (2016) 年	2,382,822	6.7	1.88
29 (2017) 年	2,561,848	7.5	2.02
30 (2018) 年	2,731,093	6.6	2.16
令和元 (2019) 年	2,933,137	7.4	2.32
2 (2020) 年	2,887,116	-1.6	2.29
3 (2021) 年	2,760,635	-4.4	2.20
<b>4 (2022) 年</b>	<b>3,075,213</b>	<b>11.4</b>	<b>2.46</b>

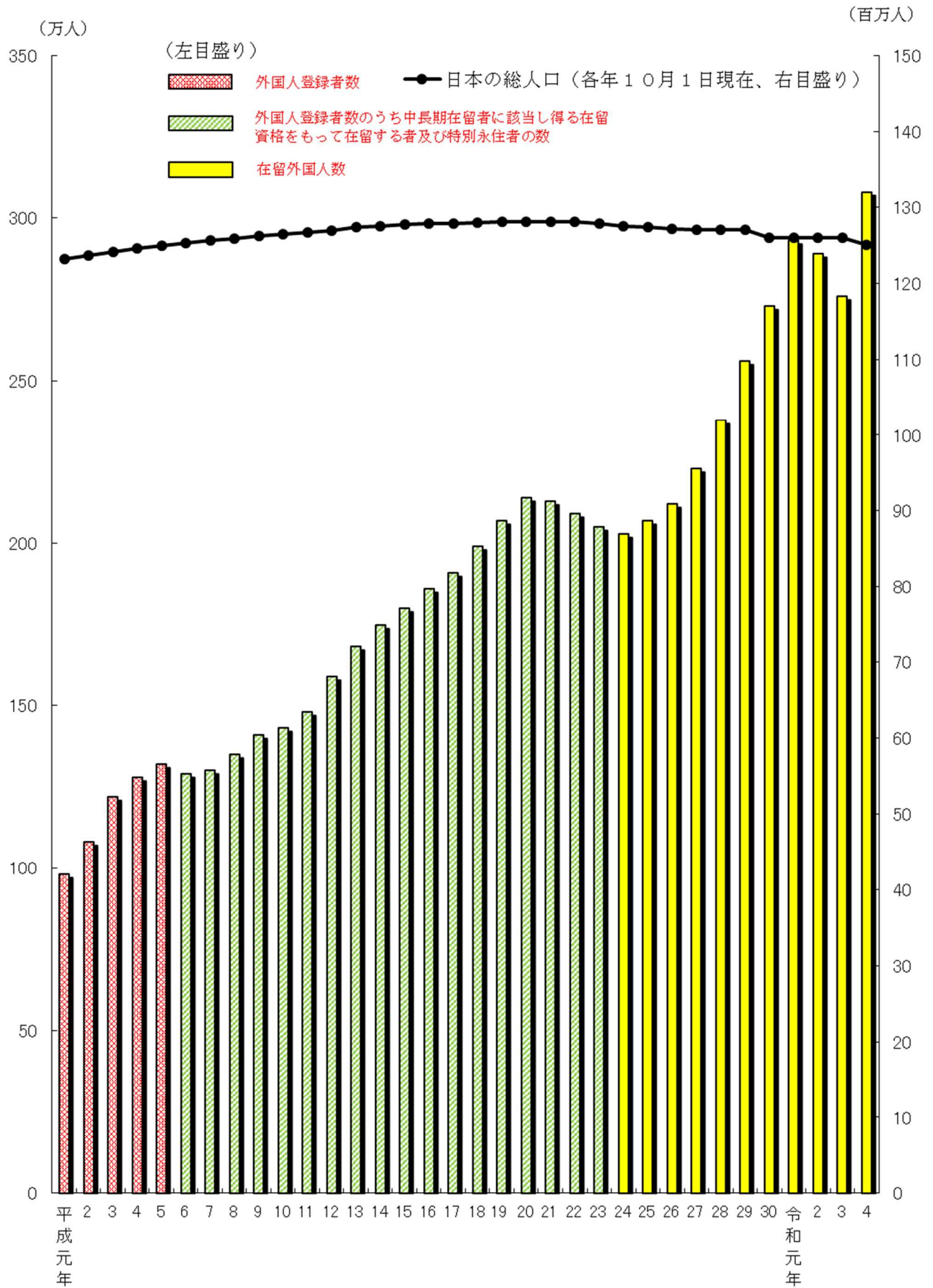
(注1) 平成5年末までは、外国人登録者数である。

(注2) 平成6年末から平成23年末までは、外国人登録者数のうち中長期在留者に該当し得る在留資格をもって在留する者及び特別永住者の数である。

(注3) 平成24年末以降は、中長期在留者及び特別永住者の数である。

(注4) 「総人口」は、各年10月1日現在人口推計(総務省統計局)によるものである。

【 第 1 図 】 外国人登録者数及び在留外国人数と日本の総人口の推移



## 2 国籍・地域別 一第2表一

### 一令和4年末現在における在留外国人の国籍・地域数は、195か国一

令和4年末現在における在留外国人数を国籍・地域別で見ると、中国が全体の24.8パーセントを占め、以下、ベトナム、韓国、フィリピン、ブラジルの順となっている。

また、在留外国人の国籍・地域数は195か国（無国籍を除く。）となっている。

### 【第2表】国籍・地域別在留外国人数の推移

(各年末現在)						
国籍・地域	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)	対前年末 増減率 (%)
<b>総数</b>	<b>2,731,093</b>	<b>2,933,137</b>	<b>2,887,116</b>	<b>2,760,635</b>	<b>3,075,213</b>	<b>11.4</b>
中国	764,720	813,675	778,112	716,606	<b>761,563</b>	<b>6.3</b>
構成比 (%)	28.0	27.7	27.0	26.0	<b>24.8</b>	
ベトナム	330,835	411,968	448,053	432,934	<b>489,312</b>	<b>13.0</b>
構成比 (%)	12.1	14.0	15.5	15.7	<b>15.9</b>	
韓国	449,634	446,364	426,908	409,855	<b>411,312</b>	<b>0.4</b>
構成比 (%)	16.5	15.2	14.8	14.8	<b>13.4</b>	
フィリピン	271,289	282,798	279,660	276,615	<b>298,740</b>	<b>8.0</b>
構成比 (%)	9.9	9.6	9.7	10.0	<b>9.7</b>	
ブラジル	201,865	211,677	208,538	204,879	<b>209,430</b>	<b>2.2</b>
構成比 (%)	7.4	7.2	7.2	7.4	<b>6.8</b>	
ネパール	88,951	96,824	95,982	97,109	<b>139,393</b>	<b>43.5</b>
構成比 (%)	3.3	3.3	3.3	3.5	<b>4.5</b>	
インドネシア	56,346	66,860	66,832	59,820	<b>98,865</b>	<b>65.3</b>
構成比 (%)	2.1	2.3	2.3	2.2	<b>3.2</b>	
米国	57,500	59,172	55,761	54,162	<b>60,804</b>	<b>12.3</b>
構成比 (%)	2.1	2.0	1.9	2.0	<b>2.0</b>	
台湾	60,684	64,773	55,872	51,191	<b>57,294</b>	<b>11.9</b>
構成比 (%)	2.2	2.2	1.9	1.9	<b>1.9</b>	
タイ	52,323	54,809	53,379	50,324	<b>56,701</b>	<b>12.7</b>
構成比 (%)	1.9	1.9	1.8	1.8	<b>1.8</b>	
ミャンマー	26,456	32,049	35,049	37,246	<b>56,239</b>	<b>51.0</b>
構成比 (%)	1.0	1.1	1.2	1.3	<b>1.8</b>	
ペルー	48,362	48,669	48,256	48,291	<b>48,914</b>	<b>1.3</b>
構成比 (%)	1.8	1.7	1.7	1.7	<b>1.6</b>	
インド	35,419	40,202	38,558	36,058	<b>43,886</b>	<b>21.7</b>
構成比 (%)	1.3	1.4	1.3	1.3	<b>1.4</b>	
スリランカ	25,410	27,367	29,290	28,986	<b>37,251</b>	<b>28.5</b>
構成比 (%)	0.9	0.9	1.0	1.0	<b>1.2</b>	
朝鮮	29,559	28,096	27,214	26,312	<b>25,358</b>	<b>-3.6</b>
構成比 (%)	1.1	1.0	0.9	1.0	<b>0.8</b>	
バングラデシュ	15,476	16,632	17,463	17,538	<b>22,723</b>	<b>29.6</b>
構成比 (%)	0.6	0.6	0.6	0.6	<b>0.7</b>	
パキスタン	16,198	17,766	19,103	19,120	<b>22,118</b>	<b>15.7</b>
構成比 (%)	0.6	0.6	0.7	0.7	<b>0.7</b>	
カンボジア	12,174	15,020	16,659	14,736	<b>19,604</b>	<b>33.0</b>
構成比 (%)	0.4	0.5	0.6	0.5	<b>0.6</b>	
英国	17,943	18,631	16,891	16,163	<b>18,959</b>	<b>17.3</b>
構成比 (%)	0.7	0.6	0.6	0.6	<b>0.6</b>	
モンゴル	10,987	12,797	13,504	12,425	<b>16,580</b>	<b>33.4</b>
構成比 (%)	0.4	0.4	0.5	0.5	<b>0.5</b>	
その他	158,962	166,988	156,032	150,265	<b>180,167</b>	<b>19.9</b>
構成比 (%)	5.8	5.7	5.4	5.4	<b>5.9</b>	

### 3 在留資格別

#### (1) 在留資格別の構成 ー第3表ー

ー大半の在留資格が増加、特に「特定技能」、「文化活動」及び「研修」が大幅に増加、一方、「技能実習2号」及び「特定活動」が大幅に減少ー

令和4年末現在における在留外国人数を在留資格別で見ると、「永住者」が86万3,936人で在留外国人全体の28.1パーセントを占め、以下、「技能実習」、「技術・人文知識・国際業務」、「留学」、「特別永住者」の地位をもって在留する者の順となっている。

【第3表】在留資格別在留外国人数の推移

在留資格	平成30年末 (2018)	令和元年末 (2019)	令和2年末 (2020)	令和3年末 (2021)	令和4年末 (2022)	構成比 (%)	対前年末 増減率 (%)
総数	2,731,093	2,933,137	2,887,116	2,760,635	3,075,213	100.0	11.4
中長期在留者	2,409,677	2,620,636	2,582,686	2,464,219	2,786,233	90.6	13.1
永住者	771,568	793,164	807,517	831,157	863,936	28.1	3.9
技能実習	328,360	410,972	378,200	276,123	324,940	10.6	17.7
技能実習1号イ	5,128	4,975	1,205	211	3,310	0.1	1,468.7
技能実習1号ロ	138,249	164,408	74,476	24,005	161,683	5.3	573.5
技能実習2号イ	3,712	4,268	4,490	2,818	878	0.0	-68.8
技能実習2号ロ	173,873	210,965	258,173	202,006	83,508	2.7	-58.7
技能実習3号イ	220	605	707	779	1,206	0.0	54.8
技能実習3号ロ	7,178	25,751	39,149	46,304	74,355	2.4	60.6
技術・人文知識・国際業務	225,724	271,999	283,380	274,740	311,961	10.1	13.5
留学	337,000	345,791	280,901	207,830	300,638	9.8	44.7
家族滞在	182,452	201,423	196,622	192,184	227,857	7.4	18.6
定住者	192,014	204,787	201,329	198,966	206,938	6.7	4.0
日本人の配偶者等	142,381	145,254	142,735	142,044	144,993	4.7	2.1
特定技能		1,621	15,663	49,666	130,923	4.3	163.6
特定技能1号		1,621	15,663	49,666	130,915	4.3	163.6
特定技能2号		0	0	0	8	0.0	-
特定活動	62,956	65,187	103,422	124,056	83,380	2.7	-32.8
永住者の配偶者等	37,998	41,517	42,905	44,522	46,999	1.5	5.6
技能	39,915	41,692	40,491	38,240	39,775	1.3	4.0
経営・管理	25,670	27,249	27,235	27,197	31,808	1.0	17.0
高度専門職	11,061	14,924	16,554	15,735	18,315	0.6	16.4
高度専門職1号イ	1,576	1,884	1,922	1,885	2,030	0.1	7.7
高度専門職1号ロ	8,774	11,886	13,167	12,257	13,972	0.5	14.0
高度専門職1号ハ	395	570	676	648	1,116	0.0	72.2
高度専門職2号	316	584	789	945	1,197	0.0	26.7
教育	12,462	13,331	12,241	12,915	13,413	0.4	3.9
企業内転勤	17,328	18,193	13,415	8,593	13,011	0.4	51.4
教授	7,360	7,354	6,647	6,519	7,343	0.2	12.6
介護	185	592	1,714	3,794	6,284	0.2	65.6
宗教	4,299	4,285	3,772	3,034	3,964	0.1	30.7
医療	1,936	2,269	2,476	2,482	2,467	0.1	-0.6
文化活動	2,825	3,013	1,280	821	2,400	0.1	192.3
興行	2,389	2,508	1,865	1,564	2,214	0.1	41.6
研究	1,528	1,480	1,337	1,161	1,314	0.0	13.2
芸術	461	489	448	385	502	0.0	30.4
研修	1,443	1,177	174	145	497	0.0	242.8
報道	215	220	215	207	210	0.0	1.4
法律・会計業務	147	145	148	139	151	0.0	8.6
特別永住者	321,416	312,501	304,430	296,416	288,980	9.4	-2.5

(注) 平成31年4月1日から在留資格「特定技能1号」及び「特定技能2号」が新設された。

## (2) 永住者及び特別永住者 ー第4、5表ー

### ー「永住者」は増加傾向が続いている。一方、「特別永住者」は年々減少ー

「永住者」の在留外国人数は、86万3,936人で、前年末に比べ3万2,779人(3.9パーセント)増加しており、平成27年以降、一貫して増加傾向にある。

また、国籍・地域別で見ると、中国が31万4,354人(36.4パーセント)と最も多く、以下、フィリピン、ブラジル、韓国、ペルーの順となっている。

一方、「特別永住者」は28万8,980人で、前年末に比べ7,436人(2.5パーセント)減少しており、年々減少している。

### 【第4表】「永住者」の国籍・地域別の推移

(各年末現在)

国籍・地域	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)	構成比 (%)	対前年末 増減率 (%)
<b>総数</b>	<b>771,568</b>	<b>793,164</b>	<b>807,517</b>	<b>831,157</b>	<b>863,936</b>	<b>100.0</b>	<b>3.9</b>
中国	260,963	273,776	283,281	296,660	<b>314,354</b>	<b>36.4</b>	<b>6.0</b>
フィリピン	129,707	131,933	133,188	135,300	<b>137,615</b>	<b>15.9</b>	<b>1.7</b>
ブラジル	112,934	112,440	112,341	112,890	<b>114,266</b>	<b>13.2</b>	<b>1.2</b>
韓国	71,094	72,391	72,473	73,037	<b>74,805</b>	<b>8.7</b>	<b>2.4</b>
ペルー	33,789	33,614	33,375	33,301	<b>33,284</b>	<b>3.9</b>	<b>-0.1</b>
台湾	21,601	22,235	22,265	22,803	<b>24,137</b>	<b>2.8</b>	<b>5.9</b>
ベトナム	16,043	17,186	18,472	20,206	<b>22,360</b>	<b>2.6</b>	<b>10.7</b>
タイ	20,142	20,526	20,720	20,985	<b>21,459</b>	<b>2.5</b>	<b>2.3</b>
米国	17,580	18,043	18,239	18,773	<b>19,425</b>	<b>2.2</b>	<b>3.5</b>
インド	6,090	6,466	6,791	7,520	<b>8,318</b>	<b>1.0</b>	<b>10.6</b>
その他	81,625	84,554	86,372	89,682	<b>93,913</b>	<b>10.9</b>	<b>4.7</b>

### 【第5表】「特別永住者」の国籍・地域別の推移

(各年末現在)

国籍・地域	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)	構成比 (%)	対前年末 増減率 (%)
<b>総数</b>	<b>321,416</b>	<b>312,501</b>	<b>304,430</b>	<b>296,416</b>	<b>288,980</b>	<b>100.0</b>	<b>-2.5</b>
韓国	288,737	281,266	274,107	267,070	<b>260,605</b>	<b>90.2</b>	<b>-2.4</b>
朝鮮	28,961	27,543	26,679	25,794	<b>24,854</b>	<b>8.6</b>	<b>-3.6</b>
台湾	1,159	1,141	1,114	1,087	<b>1,054</b>	<b>0.4</b>	<b>-3.0</b>
その他	2,559	2,551	2,530	2,465	<b>2,467</b>	<b>0.9</b>	<b>0.1</b>

## (3) 定住者 ー第6表ー

### ー前年末に比べて微増ー

「定住者」の在留外国人数は、20万6,938人で、前年末に比べ7,972人(4.0パーセント)増加している。

また、国籍・地域別で見ると、ブラジルが7万906人(34.3パーセント)と最も多く、以下、フィリピン

ン、中国、ペルー、韓国の順となっており、上位5か国で全体の83.9パーセントを占めている。

【第6表】「定住者」の国籍・地域別の推移

(各年末現在)

国籍・地域	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)	構成比 (%)	対前年末 増減率 (%)
<b>総数</b>	<b>192,014</b>	<b>204,787</b>	<b>201,329</b>	<b>198,966</b>	<b>206,938</b>	<b>100.0</b>	<b>4.0</b>
ブラジル	65,021	73,536	71,832	68,492	<b>70,906</b>	<b>34.3</b>	<b>3.5</b>
フィリピン	52,008	54,359	53,941	54,946	<b>57,591</b>	<b>27.8</b>	<b>4.8</b>
中国	28,282	28,822	27,436	26,624	<b>26,950</b>	<b>13.0</b>	<b>1.2</b>
ペルー	10,647	10,936	10,779	10,784	<b>11,161</b>	<b>5.4</b>	<b>3.5</b>
韓国	7,289	7,208	7,119	7,069	<b>7,080</b>	<b>3.4</b>	<b>0.2</b>
ベトナム	5,509	5,646	5,739	5,783	<b>6,068</b>	<b>2.9</b>	<b>4.9</b>
タイ	3,922	3,997	3,985	4,024	<b>4,214</b>	<b>2.0</b>	<b>4.7</b>
インドネシア	2,107	2,238	2,260	2,347	<b>2,528</b>	<b>1.2</b>	<b>7.7</b>
ボリビア	2,171	2,294	2,334	2,409	<b>2,527</b>	<b>1.2</b>	<b>4.9</b>
ミャンマー	2,479	2,479	2,413	2,397	<b>2,508</b>	<b>1.2</b>	<b>4.6</b>
その他	12,579	13,272	13,491	14,091	<b>15,405</b>	<b>7.4</b>	<b>9.3</b>

(4) 日本人の配偶者等 ー第7表ー

ー前年末に比べて微増ー

「日本人の配偶者等」(日本人の配偶者又は子)の在留外国人数は、14万4,993人で、前年末に比べ2,949人(2.1パーセント)増加している。

また、国籍・地域別で見ると、中国が2万5,960人(17.9パーセント)と最も多く、以下、フィリピン、ブラジル、韓国、米国の順となっており、上位5か国で全体の63.2パーセントを占めている。

【第7表】「日本人の配偶者等」の国籍・地域別の推移

(各年末現在)

国籍・地域	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)	構成比 (%)	対前年末 増減率 (%)
<b>総数</b>	<b>142,381</b>	<b>145,254</b>	<b>142,735</b>	<b>142,044</b>	<b>144,993</b>	<b>100.0</b>	<b>2.1</b>
中国	30,900	30,321	28,313	26,575	<b>25,960</b>	<b>17.9</b>	<b>-2.3</b>
フィリピン	26,322	26,699	26,022	25,538	<b>25,453</b>	<b>17.6</b>	<b>-0.3</b>
ブラジル	17,668	18,427	17,225	16,544	<b>16,402</b>	<b>11.3</b>	<b>-0.9</b>
韓国	13,053	12,798	12,490	12,103	<b>11,928</b>	<b>8.2</b>	<b>-1.4</b>
米国	9,689	10,014	10,439	11,034	<b>11,836</b>	<b>8.2</b>	<b>7.3</b>
タイ	7,223	7,301	7,154	7,192	<b>7,397</b>	<b>5.1</b>	<b>2.9</b>
ベトナム	3,837	4,601	4,983	5,435	<b>6,125</b>	<b>4.2</b>	<b>12.7</b>
台湾	4,439	4,541	4,475	4,378	<b>4,539</b>	<b>3.1</b>	<b>3.7</b>
英国	2,644	2,637	2,743	2,825	<b>2,934</b>	<b>2.0</b>	<b>3.9</b>
フランス	1,997	2,097	2,195	2,282	<b>2,423</b>	<b>1.7</b>	<b>6.2</b>
その他	24,609	25,818	26,696	28,138	<b>29,996</b>	<b>20.7</b>	<b>6.6</b>

## (5) 留学 ー第8表ー

## ー前年末に比べて増加ー

「留学」の在留外国人数は、30万638人で、前年末に比べ9万2,808人(44.7パーセント)増加している。

また、国籍・地域別で見ると、中国が12万5,940人(41.9パーセント)と最も多く、以下、ベトナム、ネパール、韓国、インドネシアの順となっており、上位5か国で全体の77.3パーセントを占めている。

## 【第8表】「留学」の国籍・地域別の推移

(各年末現在)

国籍・地域	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)	構成比 (%)	対前年末 増減率 (%)
<b>総数</b>	<b>337,000</b>	<b>345,791</b>	<b>280,901</b>	<b>207,830</b>	<b>300,638</b>	<b>100.0</b>	<b>44.7</b>
中国	132,411	144,264	125,328	96,594	<b>125,940</b>	<b>41.9</b>	<b>30.4</b>
ベトナム	81,009	79,292	65,653	46,403	<b>45,411</b>	<b>15.1</b>	<b>-2.1</b>
ネパール	28,987	29,417	23,116	16,858	<b>39,656</b>	<b>13.2</b>	<b>135.2</b>
韓国	17,056	17,732	12,854	8,616	<b>14,124</b>	<b>4.7</b>	<b>63.9</b>
インドネシア	7,213	7,512	6,279	4,686	<b>7,321</b>	<b>2.4</b>	<b>56.2</b>
台湾	10,603	10,420	6,206	3,907	<b>6,938</b>	<b>2.3</b>	<b>77.6</b>
スリランカ	8,701	7,408	5,578	3,452	<b>6,124</b>	<b>2.0</b>	<b>77.4</b>
ミャンマー	6,369	5,429	4,371	3,207	<b>5,925</b>	<b>2.0</b>	<b>84.8</b>
バングラデシュ	3,948	3,624	3,341	2,664	<b>5,276</b>	<b>1.8</b>	<b>98.0</b>
モンゴル	3,675	3,908	3,320	2,426	<b>4,008</b>	<b>1.3</b>	<b>65.2</b>
その他	37,028	36,785	24,855	19,017	<b>39,915</b>	<b>13.3</b>	<b>109.9</b>

## (6) 技能実習 ー第9表ー1、第9表ー2、第9表ー3、第9表ー4ー

## ー全体は増加、1号及び3号は増加、2号は減少ー

「技能実習」の在留外国人数は、32万4,940人で、前年末に比べ4万8,817人(17.7パーセント)増加している。

また、国籍・地域別で見ると、ベトナムが17万6,346人(54.3パーセント)と最も多く、以下、インドネシア、フィリピン、中国、ミャンマーの順となっており、上位5か国で全体の91.5パーセントを占めている。



【第9表-1】「技能実習」の国籍・地域別の推移

(各年末現在)

国籍・地域	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)	構成比・増減率	
						構成比 (%)	対前年末 増減率 (%)
<b>総 数</b>	<b>328,360</b>	<b>410,972</b>	<b>378,200</b>	<b>276,123</b>	<b>324,940</b>	<b>100.0</b>	<b>17.7</b>
ベトナム	164,499	218,727	208,879	160,563	<b>176,346</b>	<b>54.3</b>	<b>9.8</b>
インドネシア	26,914	35,404	34,459	25,007	<b>45,919</b>	<b>14.1</b>	<b>83.6</b>
フィリピン	30,321	35,874	31,648	23,186	<b>29,140</b>	<b>9.0</b>	<b>25.7</b>
中 国	77,806	82,370	63,741	37,489	<b>28,802</b>	<b>8.9</b>	<b>-23.2</b>
ミャンマー	8,432	13,118	13,963	11,388	<b>17,034</b>	<b>5.2</b>	<b>49.6</b>
カンボジア	7,424	9,516	9,970	7,475	<b>11,434</b>	<b>3.5</b>	<b>53.0</b>
タイ	9,639	11,325	10,735	7,478	<b>9,425</b>	<b>2.9</b>	<b>26.0</b>
モンゴル	1,484	2,123	2,310	1,566	<b>2,394</b>	<b>0.7</b>	<b>52.9</b>
ネパール	257	403	449	390	<b>1,266</b>	<b>0.4</b>	<b>224.6</b>
スリランカ	487	740	839	712	<b>1,162</b>	<b>0.4</b>	<b>63.2</b>
そ の 他	1,097	1,372	1,207	869	<b>2,018</b>	<b>0.6</b>	<b>132.2</b>

(注)「技能実習」は、「技能実習1号イ、1号ロ、2号イ、2号ロ、3号イ及び3号ロ」を合算した数値である。

【第9表-2】「技能実習1号」の国籍・地域別の推移

(各年末現在)

国籍・地域	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)	構成比・増減率	
						構成比 (%)	対前年末 増減率 (%)
<b>総 数</b>	<b>143,377</b>	<b>169,383</b>	<b>75,681</b>	<b>24,216</b>	<b>164,993</b>	<b>100.0</b>	<b>581.3</b>
ベトナム	74,150	90,776	41,564	17,793	<b>82,941</b>	<b>50.3</b>	<b>366.1</b>
インドネシア	12,162	15,419	8,030	735	<b>30,040</b>	<b>18.2</b>	<b>3987.1</b>
フィリピン	11,793	13,271	4,818	381	<b>13,686</b>	<b>8.3</b>	<b>3492.1</b>
中 国	32,178	32,489	10,891	3,644	<b>11,411</b>	<b>6.9</b>	<b>213.1</b>
ミャンマー	3,682	6,299	3,456	937	<b>10,960</b>	<b>6.6</b>	<b>1069.7</b>
カンボジア	3,270	4,162	2,736	340	<b>6,763</b>	<b>4.1</b>	<b>1889.1</b>
タイ	4,303	4,513	2,670	310	<b>4,493</b>	<b>2.7</b>	<b>1349.4</b>
モンゴル	805	1,109	771	18	<b>1,507</b>	<b>0.9</b>	<b>8272.2</b>
ネパール	133	189	118	8	<b>986</b>	<b>0.6</b>	<b>12225.0</b>
スリランカ	260	331	240	42	<b>664</b>	<b>0.4</b>	<b>1481.0</b>
そ の 他	641	825	387	8	<b>1,542</b>	<b>0.9</b>	<b>19175.0</b>

(注)「技能実習1号」は、「技能実習1号イ」及び「技能実習1号ロ」を合算した数値である。

【第9表-3】「技能実習2号」の国籍・地域別の推移

(各年末現在)

国籍・地域	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)	構成比・増減率	
						構成比 (%)	対前年末 増減率 (%)
<b>総数</b>	<b>177,585</b>	<b>215,233</b>	<b>262,663</b>	<b>204,824</b>	<b>84,386</b>	<b>100.0</b>	<b>-58.8</b>
ベトナム	86,155	113,810	146,143	116,646	<b>52,419</b>	<b>62.1</b>	<b>-55.1</b>
中国	44,331	45,412	46,924	28,790	<b>9,653</b>	<b>11.4</b>	<b>-66.5</b>
インドネシア	14,144	18,054	23,441	20,147	<b>7,537</b>	<b>8.9</b>	<b>-62.6</b>
フィリピン	17,798	19,358	21,417	16,287	<b>4,746</b>	<b>5.6</b>	<b>-70.9</b>
ミャンマー	4,635	6,070	9,083	8,682	<b>3,897</b>	<b>4.6</b>	<b>-55.1</b>
タイ	5,122	5,914	6,741	5,740	<b>2,531</b>	<b>3.0</b>	<b>-55.9</b>
カンボジア	3,969	4,595	5,944	5,619	<b>2,331</b>	<b>2.8</b>	<b>-58.5</b>
モンゴル	661	946	1,410	1,353	<b>574</b>	<b>0.7</b>	<b>-57.6</b>
スリランカ	212	375	535	513	<b>266</b>	<b>0.3</b>	<b>-48.1</b>
ネパール	117	192	289	283	<b>126</b>	<b>0.1</b>	<b>-55.5</b>
その他	441	507	736	764	<b>306</b>	<b>0.4</b>	<b>-59.9</b>

(注)「技能実習2号」は、「技能実習2号イ」及び「技能実習2号ロ」を合算した数値である。

【第9表-4】「技能実習3号」の国籍・地域別の推移

(各年末現在)

国籍・地域	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)	構成比・増減率	
						構成比 (%)	対前年末 増減率 (%)
<b>総数</b>	<b>7,398</b>	<b>26,356</b>	<b>39,856</b>	<b>47,083</b>	<b>75,561</b>	<b>100.0</b>	<b>60.5</b>
ベトナム	4,194	14,141	21,172	26,124	<b>40,986</b>	<b>54.2</b>	<b>56.9</b>
フィリピン	730	3,245	5,413	6,518	<b>10,708</b>	<b>14.2</b>	<b>64.3</b>
インドネシア	608	1,931	2,988	4,125	<b>8,342</b>	<b>11.0</b>	<b>102.2</b>
中国	1,297	4,469	5,926	5,055	<b>7,738</b>	<b>10.2</b>	<b>53.1</b>
タイ	214	898	1,324	1,428	<b>2,401</b>	<b>3.2</b>	<b>68.1</b>
カンボジア	185	759	1,290	1,516	<b>2,340</b>	<b>3.1</b>	<b>54.4</b>
ミャンマー	115	749	1,424	1,769	<b>2,177</b>	<b>2.9</b>	<b>23.1</b>
モンゴル	18	68	129	195	<b>313</b>	<b>0.4</b>	<b>60.5</b>
スリランカ	15	34	64	157	<b>232</b>	<b>0.3</b>	<b>47.8</b>
ネパール	7	22	42	99	<b>154</b>	<b>0.2</b>	<b>55.6</b>
その他	15	40	84	97	<b>170</b>	<b>0.2</b>	<b>75.3</b>

(注)「技能実習3号」は、「技能実習3号イ」及び「技能実習3号ロ」を合算した数値である。

## (7) 専門的・技術的分野での就労を目的とする在留資格 ー第10表ー

## ー前年末に比べて増加ー

専門的・技術的分野での就労を目的とする在留資格の在留外国人数は、58万3,655人で、前年末に比べ13万7,284人(30.8パーセント)増加している。

また、在留資格別で見ると、「技術・人文知識・国際業務」が31万1,961人(53.4パーセント)と最も多く、以下、「特定技能」、「技能」、「経営・管理」、「高度専門職」の順となっており、上位5在留資格で全体の91.3パーセントを占めている。

なお、平成31年4月に新設された「特定技能1号」の増加が著しい。

【第10表】専門的・技術的分野での就労を目的とする在留資格別在留外国人数の推移

(各年末現在)

在留資格	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)	構成比 (%)	対前年末 増減率 (%)
<b>総数</b>	<b>350,680</b>	<b>408,351</b>	<b>427,601</b>	<b>446,371</b>	<b>583,655</b>	<b>100.0</b>	<b>30.8</b>
技術・人文知識・国際業務	225,724	271,999	283,380	274,740	<b>311,961</b>	<b>53.4</b>	<b>13.5</b>
特定技能		1,621	15,663	49,666	<b>130,923</b>	<b>22.4</b>	<b>163.6</b>
特定技能1号		1,621	15,663	49,666	<b>130,915</b>	<b>22.4</b>	<b>163.6</b>
特定技能2号		0	0	0	<b>8</b>	<b>0.0</b>	<b>-</b>
技能	39,915	41,692	40,491	38,240	<b>39,775</b>	<b>6.8</b>	<b>4.0</b>
経営・管理	25,670	27,249	27,235	27,197	<b>31,808</b>	<b>5.4</b>	<b>17.0</b>
高度専門職	11,061	14,924	16,554	15,735	<b>18,315</b>	<b>3.1</b>	<b>16.4</b>
高度専門職1号イ	1,576	1,884	1,922	1,885	<b>2,030</b>	<b>0.3</b>	<b>7.7</b>
高度専門職1号ロ	8,774	11,886	13,167	12,257	<b>13,972</b>	<b>2.4</b>	<b>14.0</b>
高度専門職1号ハ	395	570	676	648	<b>1,116</b>	<b>0.2</b>	<b>72.2</b>
高度専門職2号	316	584	789	945	<b>1,197</b>	<b>0.2</b>	<b>26.7</b>
教育	12,462	13,331	12,241	12,915	<b>13,413</b>	<b>2.3</b>	<b>3.9</b>
企業内転勤	17,328	18,193	13,415	8,593	<b>13,011</b>	<b>2.2</b>	<b>51.4</b>
教授	7,360	7,354	6,647	6,519	<b>7,343</b>	<b>1.3</b>	<b>12.6</b>
介護	185	592	1,714	3,794	<b>6,284</b>	<b>1.1</b>	<b>65.6</b>
宗教	4,299	4,285	3,772	3,034	<b>3,964</b>	<b>0.7</b>	<b>30.7</b>
医療	1,936	2,269	2,476	2,482	<b>2,467</b>	<b>0.4</b>	<b>-0.6</b>
興行	2,389	2,508	1,865	1,564	<b>2,214</b>	<b>0.4</b>	<b>41.6</b>
研究	1,528	1,480	1,337	1,161	<b>1,314</b>	<b>0.2</b>	<b>13.2</b>
芸術	461	489	448	385	<b>502</b>	<b>0.1</b>	<b>30.4</b>
報道	215	220	215	207	<b>210</b>	<b>0.0</b>	<b>1.4</b>
法律・会計業務	147	145	148	139	<b>151</b>	<b>0.0</b>	<b>8.6</b>

## 4 都道府県別 ー第11表ー

## ー全ての都道府県で増加ー

令和4年末現在における在留外国人数を都道府県別で見ると、東京都が59万6,148人(19.4パーセント)と最も多く、以下、愛知県、大阪府、神奈川県、埼玉県、千葉県、兵庫県、静岡県、福岡県、茨城県の順となっており、上位10都道府県で全体の71.4パーセントを占めている。

また、全ての都道府県で前年末を上回っており、対前年末増加率が最も高かったのは、大分県の30.8パーセントとなっている。

【第11表】都道府県別在留外国人数の推移

(各年末現在)

都道府県	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)	構成比 (%)	対前年末 増減率 (%)
<b>総数</b>	<b>2,731,093</b>	<b>2,933,137</b>	<b>2,887,116</b>	<b>2,760,635</b>	<b>3,075,213</b>	<b>100.0</b>	<b>11.4</b>
東京都	567,789	593,458	560,180	531,131	596,148	19.4	12.2
愛知県	260,952	281,153	273,784	265,199	286,604	9.3	8.1
大阪府	239,113	255,894	253,814	246,157	272,449	8.9	10.7
神奈川県	218,946	235,233	232,321	227,511	245,790	8.0	8.0
埼玉県	180,762	196,043	198,235	197,110	212,624	6.9	7.9
千葉県	156,058	167,512	169,833	165,356	182,189	5.9	10.2
兵庫県	110,005	115,681	114,806	111,940	123,125	4.0	10.0
静岡県	92,459	100,148	99,629	97,338	106,345	3.5	9.3
福岡県	77,044	83,468	81,072	76,234	89,518	2.9	17.4
茨城県	66,321	71,125	72,287	71,121	81,478	2.6	14.6
京都府	61,022	64,972	61,696	58,370	68,443	2.2	17.3
群馬県	58,220	61,689	62,749	61,945	66,963	2.2	8.1
岐阜県	55,205	60,206	59,377	56,697	62,710	2.0	10.6
三重県	52,087	56,590	55,982	54,295	58,974	1.9	8.6
広島県	52,134	56,898	55,782	50,605	56,068	1.8	10.8
栃木県	41,648	43,732	43,647	42,430	45,918	1.5	8.2
北海道	36,899	42,485	38,725	36,316	45,491	1.5	25.3
長野県	36,526	38,446	36,530	35,673	39,248	1.3	10.0
滋賀県	30,155	33,929	33,881	33,458	37,350	1.2	11.6
岡山県	28,158	31,569	31,313	29,435	32,042	1.0	8.9
宮城県	21,614	23,986	22,890	21,089	24,568	0.8	16.5
沖縄県	18,025	21,220	19,839	18,535	21,792	0.7	17.6
熊本県	15,576	17,942	17,751	16,686	20,660	0.7	23.8
富山県	18,556	19,850	19,356	18,237	20,175	0.7	10.6
山梨県	16,073	17,179	17,125	17,163	19,982	0.6	16.4
新潟県	17,285	18,861	17,756	16,936	19,107	0.6	12.8
山口県	16,591	17,892	17,279	15,873	17,394	0.6	9.6
石川県	15,455	16,881	15,792	14,766	17,161	0.6	16.2
福井県	15,114	15,823	16,156	16,014	16,720	0.5	4.4
福島県	14,191	15,559	15,043	14,120	15,858	0.5	12.3
奈良県	12,681	13,951	13,985	13,873	15,590	0.5	12.4
大分県	12,951	14,081	13,216	11,879	15,541	0.5	30.8
香川県	12,597	14,266	14,174	13,043	15,078	0.5	15.6
鹿児島県	10,547	12,215	12,204	11,833	13,975	0.5	18.1
愛媛県	12,038	13,540	13,481	11,900	13,742	0.4	15.5
長崎県	10,369	10,995	9,955	8,982	11,214	0.4	24.8
島根県	9,274	9,342	9,324	9,405	9,889	0.3	5.1
岩手県	7,187	8,170	7,782	7,203	8,374	0.3	16.3
宮崎県	6,621	7,850	7,736	7,011	8,309	0.3	18.5
山形県	7,367	8,058	7,826	7,472	8,162	0.3	9.2
和歌山県	6,676	7,169	7,272	7,132	8,006	0.3	12.3
佐賀県	6,452	7,367	7,116	6,507	7,919	0.3	21.7
徳島県	6,073	6,592	6,627	6,094	7,009	0.2	15.0
青森県	5,786	6,386	6,165	5,693	6,702	0.2	17.7
高知県	4,580	4,967	4,832	4,500	5,341	0.2	18.7
鳥取県	4,654	5,042	4,949	4,529	5,020	0.2	10.8
秋田県	3,975	4,354	4,220	4,045	4,589	0.1	13.4
未定・不詳	1,282	3,368	21,622	1,794	7,859	0.3	338.1
上位10都府県の合計	1,969,449	2,099,715	2,055,961	1,989,097	2,196,270	71.4	10.4

## 5 都道府県別・国籍・地域別 ー第12表ー

### ー東京都では中国が、鹿児島県ではベトナムが、島根県ではブラジルが約4割を占めるー

都道府県別に在留外国人数を国籍・地域別割合で見ると、**中国**が大きな割合を占めているのは、東京都が39.4パーセントと最も高く、以下、埼玉県、千葉県、神奈川県の間となっており、反対に割合が最も小さいのは、静岡県が9.4パーセントである。

**ベトナム**が大きな割合を占めているのは、鹿児島県が37.1パーセントと最も高く、以下、岡山県、青森県、宮崎県の間となっており、反対に割合が最も小さいのは、東京都の6.4パーセントである。

**韓国**が大きな割合を占めているのは、大阪府が32.8パーセントと最も高く、以下、京都府、兵庫県、山口県の間となっており、反対に割合が最も小さいのは、群馬県の3.1パーセントである。

**フィリピン**が大きな割合を占めているのは、岐阜県が23.2パーセントと最も高く、以下、愛媛県、秋田県、福島県の間となっており、反対に割合が最も小さいのは、大阪府の3.7パーセントである。

**ブラジル**が大きな割合を占めているのは、島根県が43.4パーセントと最も高く、以下、静岡県、福井県、滋賀県の間となっており、反対に割合が最も小さいのは、秋田県の0.3パーセントである。

【第12表】令和4年末 都道府県別在留外国人数の国籍・地域別の割合

都道府県	国籍・地域別の割合 (%)					
	中国	ベトナム	韓国	フィリピン	ブラジル	その他
全 国	24.8	15.9	13.4	9.7	6.8	29.4
東 京 都	39.4	6.4	14.7	5.8	0.7	33.0
愛 知 県	15.3	17.3	9.4	14.6	21.1	22.2
大 阪 府	25.4	17.5	32.8	3.7	1.0	19.7
神 奈 川 県	29.4	12.2	11.1	10.1	3.7	33.6
埼 玉 県	35.4	16.3	7.3	10.6	3.4	26.9
千 葉 県	29.7	15.0	8.4	11.4	2.0	33.4
兵 庫 県	18.2	21.1	29.2	4.6	2.0	24.9
静 岡 県	9.4	14.7	4.0	17.3	29.9	24.7
福 岡 県	21.7	22.2	15.8	6.9	0.4	33.0
茨 城 県	14.7	18.7	5.0	13.2	7.5	40.9
京 都 府	24.5	11.6	31.4	4.0	0.8	27.6
群 馬 県	9.5	18.3	3.1	12.6	19.8	36.8
岐 阜 県	14.3	18.9	5.3	23.2	19.3	19.1
三 重 県	10.5	18.8	6.6	13.3	23.2	27.6
広 島 県	21.1	24.0	12.0	15.0	4.1	23.8
栃 木 県	13.4	19.8	4.7	11.1	8.8	42.2
北 海 道	19.9	23.3	9.1	5.5	0.4	41.8
長 野 県	20.9	15.9	7.9	12.8	13.0	29.5
滋 賀 県	12.5	22.5	10.3	7.8	26.1	20.8
岡 山 県	20.8	32.5	13.7	6.7	3.2	23.1
宮 城 県	22.2	18.2	12.1	6.0	0.9	40.6
沖 縄 県	12.3	10.3	6.2	10.8	3.5	57.0
熊 本 県	15.5	30.3	4.6	14.7	0.4	34.6
富 山 県	20.7	24.9	4.0	13.0	12.8	24.6
山 梨 県	20.4	18.0	8.5	11.0	15.1	27.0
新 潟 県	22.5	20.2	8.4	15.3	1.7	31.9
山 口 県	13.1	23.8	26.0	9.9	1.1	26.2
石 川 県	21.6	28.0	7.1	7.6	8.6	27.1
福 井 県	12.4	18.8	11.3	11.3	28.1	18.2
福 島 県	19.4	24.0	8.3	17.4	1.3	29.6
奈 良 県	19.0	20.9	20.1	6.1	2.3	31.7
大 分 県	14.9	21.0	11.3	10.9	0.5	41.3
香 川 県	19.2	25.2	5.2	14.9	1.2	34.2
鹿 児 島 県	12.0	37.1	3.6	15.9	1.0	30.4
愛 媛 県	18.5	27.0	7.6	19.8	1.6	25.5
長 崎 県	17.4	22.3	9.1	10.4	0.6	40.2
島 根 県	10.3	14.8	5.6	9.5	43.4	16.4
岩 手 県	18.2	25.6	8.3	16.2	1.2	30.4
宮 崎 県	12.3	31.1	6.3	10.7	0.7	38.8
山 形 県	22.5	26.5	17.2	10.8	1.2	21.8
和 歌 山 県	15.7	19.8	22.6	10.3	1.5	30.0
佐 賀 県	11.9	29.5	7.2	10.0	0.4	41.0
徳 島 県	21.8	29.2	4.3	12.0	0.6	32.2
青 森 県	14.2	31.4	10.3	12.9	0.7	30.6
高 知 県	18.0	24.6	8.4	14.8	0.4	33.9
鳥 取 県	14.6	25.4	16.1	12.7	0.5	30.7
秋 田 県	20.1	17.6	10.4	18.8	0.3	32.9

## 6 年齢・性別 ー第13表ー

## ー20代と30代で在留外国人数の約半数を占めるー

令和4年末現在における在留外国人数を年齢別で見ると、20代が93万4,777人（30.4パーセント）と最も多く、次いで30代となっており、20代及び30代で52.7パーセントを占めている。

また、性別で見ると、女性が男性を1万8,842人上回っており、平成6年末から女性が男性を上回っている。

なお、年齢・性別の構成比では、30代以下で男性が女性を上回っている。

【第13表】年齢・性別在留外国人数の推移

(各年末現在)

年 齢	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)	構成比 (%)	性別 構成比 (%)	対前年末 増減率 (%)
<b>総 数</b>	<b>2,731,093</b>	<b>2,933,137</b>	<b>2,887,116</b>	<b>2,760,635</b>	<b>3,075,213</b>	<b>100.0</b>		<b>11.4</b>
<b>男 性</b>	<b>1,327,893</b>	<b>1,445,799</b>	<b>1,429,471</b>	<b>1,356,101</b>	<b>1,528,185</b>	<b>49.7</b>	<b>100.0</b>	<b>12.7</b>
0～9歳	86,559	92,053	90,102	89,444	<b>94,339</b>	<b>3.1</b>	<b>6.2</b>	<b>5.5</b>
10～19歳	91,956	98,987	84,015	71,795	<b>92,880</b>	<b>3.0</b>	<b>6.1</b>	<b>29.4</b>
20～29歳	459,075	512,792	492,347	430,510	<b>512,774</b>	<b>16.7</b>	<b>33.6</b>	<b>19.1</b>
30～39歳	289,842	323,180	335,287	328,861	<b>364,469</b>	<b>11.9</b>	<b>23.8</b>	<b>10.8</b>
40～49歳	171,375	179,906	182,256	183,604	<b>198,008</b>	<b>6.4</b>	<b>13.0</b>	<b>7.8</b>
50～59歳	115,985	121,603	124,996	128,020	<b>134,578</b>	<b>4.4</b>	<b>8.8</b>	<b>5.1</b>
60～69歳	66,206	67,950	69,006	70,391	<b>75,140</b>	<b>2.4</b>	<b>4.9</b>	<b>6.7</b>
70歳以上	46,895	49,328	51,462	53,476	<b>55,997</b>	<b>1.8</b>	<b>3.7</b>	<b>4.7</b>
<b>女 性</b>	<b>1,403,200</b>	<b>1,487,338</b>	<b>1,457,645</b>	<b>1,404,534</b>	<b>1,547,027</b>	<b>50.3</b>	<b>100.0</b>	<b>10.1</b>
0～9歳	81,069	86,256	84,548	84,225	<b>89,166</b>	<b>2.9</b>	<b>5.8</b>	<b>5.9</b>
10～19歳	88,957	95,051	79,121	66,638	<b>87,086</b>	<b>2.8</b>	<b>5.6</b>	<b>30.7</b>
20～29歳	383,465	418,624	396,736	356,206	<b>422,002</b>	<b>13.7</b>	<b>27.3</b>	<b>18.5</b>
30～39歳	298,350	313,382	312,447	301,763	<b>322,654</b>	<b>10.5</b>	<b>20.9</b>	<b>6.9</b>
40～49歳	234,249	238,843	236,223	233,585	<b>243,472</b>	<b>7.9</b>	<b>15.7</b>	<b>4.2</b>
50～59歳	167,679	178,492	185,261	191,826	<b>200,452</b>	<b>6.5</b>	<b>13.0</b>	<b>4.5</b>
60～69歳	83,611	87,812	91,737	95,893	<b>103,956</b>	<b>3.4</b>	<b>6.7</b>	<b>8.4</b>
70歳以上	65,820	68,878	71,572	74,398	<b>78,239</b>	<b>2.5</b>	<b>5.1</b>	<b>5.2</b>
<b>そ の 他</b>					<b>1</b>	<b>0.0</b>	<b>100.0</b>	<b>-</b>
20～29歳					<b>1</b>	<b>0.0</b>	<b>100.0</b>	<b>-</b>